

令和5年度 シラバス

教科名 芸術

愛媛県立宇和高等学校

音楽 I

愛媛県立宇和高等学校

教科	芸術	単位数	2	対象	1年生 生物工学科	
使用教科書	MOUSAI (教育芸術社)	副教材等		履修	・必履修・ 選択	
授業の概要		到達目標		履修の条件・進路		
歌唱・器楽等各分野の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現力と鑑賞の能力を伸ばすことを目的とする。		・音楽を愛好する心情と感性を高める。 ・各分野の活動を通して、積極的な自己表現ができるようになる。 ・幅広く音楽に触れることで、文化の多様性を認めるしなやかさをもたせる。		・条件は無し。 ・音楽系の大学・短大・専門学校等に進学を希望する人は履修することが望ましい。		
学習の年間計画	月	単 元 名	学 習 内 容			メ モ
	一学期	歌唱 器楽 (ギター) 鑑賞	・校歌 (手話) ・Ave Maria 他 ・ギターの基礎 ・日曜日よりの使者 ・交響曲第9番より ・西洋音楽			
	二学期	課題研究 歌唱 器楽 (オカリナ)	・レポート発表 ・ぼくはぼく ・オカリナの基礎 ・旋律練習 ・オカリナアンサンブル			学習の成果を学園祭で発表する。
	三学期	器楽・創作 (箏) 歌唱	・箏の基礎 ・さくら変奏曲 ・創作活動 ・Caro mio ben			
学習方法	【授業】主体的・積極的に表現すること、鑑賞することを心がけましょう。 【復習】授業で習った曲は、日常生活でよく使われています。授業外でも音楽に耳を傾けましょう。 【予習】特にありません。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
	・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、創造的に表現しているか。		・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら解釈したり、価値を考えたりして理解を深め、表現できる。		・音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとしている。	
評価方法	※上記の3つの観点を基に、学期ごとに評価する。		1学期	2学期	3学期	年度末
			(評価方法) などを参考に、上記の3つの観点から総合的に評価する。			1・2・3学期の平均
到達目標に対する自己評価 (A・B・Cの3段階)						

音楽 I

愛媛県立宇和高等学校

教科	芸術	単位数	2		対象	1年生 普通科	
使用教科書	MOUSA1 (教育芸術社)		副教材等		履修	必修修・ <input type="checkbox"/> 選択	
授業の概要		到達目標			履修の条件・進路		
歌唱・器楽等各分野の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現力と鑑賞の能力を伸ばすことを目的とする。		<ul style="list-style-type: none"> 音楽を愛好する心情と感性を高める。 各分野の活動を通して、積極的な自己表現ができるようになる。 幅広く音楽に触れることで、文化の多様性を認めるしなやかさをもたせる。 			<ul style="list-style-type: none"> 条件は無し。 音楽系の大学・短大・専門学校等に進学を希望する人は履修することが望ましい。 		
学習 の 年 間 計 画	月	単 元 名	学 習 内 容				メ モ
	一 学 期	歌唱	<ul style="list-style-type: none"> 校歌 (手話) Ave Maria 他 				
		器楽 (ギター)	<ul style="list-style-type: none"> ギターの基礎 日曜日よりの使者 				
		鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> 交響曲第9番より 西洋音楽 				
二 学 期	課題研究	<ul style="list-style-type: none"> レポート発表 				学習の成果を学園祭で発表する。	
	歌唱 器楽 (オカリナ)	<ul style="list-style-type: none"> ぼくはぼく オカリナの基礎 旋律練習 オカリナアンサンブル 					
三 学 期	器楽・創作 (箏)	<ul style="list-style-type: none"> 箏の基礎 さくら変奏曲 創作活動 					
	歌唱	<ul style="list-style-type: none"> Caro mio ben 					
学習方法	<p>【授業】主体的・積極的に表現すること、鑑賞することを心がけましょう。</p> <p>【復習】授業で習った曲は、日常生活でよく使われています。授業外でも音楽に耳を傾けましょう。</p> <p>【予習】特にありません。</p>						
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
	<ul style="list-style-type: none"> 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、創造的に表現しているか。 		<ul style="list-style-type: none"> 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら解釈したり、価値を考えたりして理解を深め、表現できる。 		<ul style="list-style-type: none"> 音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとしている。(約30%) 		
評価方法	※上記の3つの観点を基に、学期ごとに評価する。		1学期	2学期	3学期	年度末	
			(評価方法) などを参考に、上記の3つの観点から総合的に評価する。			1・2・3学期の平均	
到達目標に対する自己評価 (A・B・Cの3段階)							

美術 I

愛媛県立宇和高等学校

教 科	芸 術	単位数	2		対 象	1 年生 生物工学科
使用教科書	高校生の美術 1 (日本文教出版)	副教材等			履修	必履修・ 選択
授業の概要		到達目標			履修の条件・進路	
幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現力と鑑賞の能力を伸ばすことを目的とする。		<ul style="list-style-type: none"> ・美術を愛好する心情と感性を高める。 ・デッサン、色彩、構成などの基礎的技能を身につける。 ・創造的な表現力と鑑賞の能力を伸ばす。 			<ul style="list-style-type: none"> ・条件はありません。 ・美術系の大学・短大・専門学校等に進学を希望する人は履修するのが望ましい。 	
学 習 の 年 間 計 画	月	単 元 名	学 習 内 容			メ モ
	1 学 期	レタリング、12色相環 フォトリアリズム① フォトリアリズム② 人権ポスターデザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 明朝体の特徴・色相環の理解 ・ アクリルガッシュの特性 ・ トレースの技法 ・ 身近なものに焦点をあてて描く ・ 各種ポスターの鑑賞 その役割と色彩・配色 ・ 鑑賞会 			※優秀作品は公募展に出品します。
	2 学 期	版画 自画像 空想画	<ul style="list-style-type: none"> ・ いろいろな版画の技法を学ぶ ・ シルクスクリーンの技法を利用して制作 ・ 摺りを楽しむ ・ 顔の構造 ・ アクリルによる油彩画的表現 ・ モダンテクニック ・ 油絵の技法 ・ オイル、筆の使い分け ・ 鑑賞会 			※完成した作品は、校内展示をします。 ※学園祭に美術選択生として作品を出品します。
	3 学 期	生命感や存在感を表す 美術作品の鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・ 木の種類 ・ 道具の効果的な使用方法 ・ 作品の見方・考察 ・ 1年間のまとめ、講評 			
学習方法	<p>【授業】 様々な素材や画材に触れることを楽しみ、アイデア豊かに制作していきましょう。</p> <p>【復習】 自分のイメージを追求できたか、制作の姿勢を省みましょう。</p> <p>【予習】 常にイメージを膨らませながら次時の作業内容を把握しておきましょう。</p>					
評 価 の 観 点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 造形的な特徴を基に、イメージや作風、様式などを捉えている。 ・ 表現方法を工夫し、主題を追求している。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 感じたこと、考えたこと、想像などから主題を生成している。 ・ 表現形式の特性を生かし、創造的な表現の構想を練っている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 主体的に絵画・彫刻の表現の創造活動に取り組もうとしている。 	
評 価 方 法			1 学期	2 学期	3 学期	年度末
	※上記の3つの観点を基に、学期ごとに評価する。		(評価方法) などを参考に、上記の3つの観点から総合的に評価する。			1・2・3 学期の平均
到達目標に対する自己評価 (A・B・Cの3段階)						

美術 I

愛媛県立宇和高等学校

教 科	芸術	単位数	2		対象	1年生 普通科
使用教科書	高校生の美術1 (日本文教出版)	副教材等			履修	必履修・ <input checked="" type="checkbox"/> 選択
授業の概要		到達目標		履修の条件・進路		
幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現力と鑑賞の能力を伸ばすことを目的とする。		<ul style="list-style-type: none"> ・美術を愛好する心情と感性を高める。 ・デッサン、色彩、構成などの基礎的技能を身につける。 ・創造的な表現力と鑑賞の能力を伸ばす。 		<ul style="list-style-type: none"> ・条件はありません。 ・美術系の大学・短大・専門学校等に進学を希望する人は履修するのが望ましい。 		
学 習 の 年 間 計 画	月	単 元 名	学 習 内 容			メ モ
	1	レタリング、12色相環 フォトリアリズム① フォトリアリズム② 人権ポスターデザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 明朝体の特徴・色相環の理解 ・ アクリルガッシュの特性 ・ トレースの技法 ・ 身近なものに焦点をあてて描く ・ 各種ポスターの鑑賞 その役割と色彩・配色 ・ 鑑賞会 			※優秀作品は公募展に出品します。
	2	版画 自画像 空想画	<ul style="list-style-type: none"> ・ いろいろな版画の技法を学ぶ ・ シルクスクリーンの技法を利用して制作 ・ 摺りを楽しむ ・ 顔の構造 ・ アクリルによる油彩画的表現 ・ モダンテクニック ・ 油絵の技法 ・ オイル、筆の使い分け ・ 鑑賞会 			※完成した作品は、校内展示をします。 ※学園祭に美術選択生として作品を出品します。
	3	生命感や存在感を表す 美術作品の鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・ 木の種類 ・ 道具の効果的な使用方法 ・ 作品の見方・考察 ・ 1年間のまとめ、講評 			
学習方法	<p>【授業】 様々な素材や画材に触れることを楽しみ、アイデア豊かに制作していきましょう。</p> <p>【復習】 自分のイメージを追求できたか、制作の姿勢を省みましよう。</p> <p>【予習】 常にイメージを膨らませながら次時の作業内容を把握しておきましょう。</p>					
評 価 の 観 点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 造形的な特徴を基に、イメージや作風、様式などを捉えている。 ・ 表現方法を工夫し、主題を追求している。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 感じたこと、考えたこと、想像などから主題を生成している。 ・ 表現形式の特性を生かし、創造的な表現の構想を練っている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 主体的に絵画・彫刻の表現の創造活動に取り組もうとしている。 	
評 価 方 法	※上記の3つの観点を基に、学期ごとに評価する。		1 学期	2 学期	3 学期	年度末
			(評価方法) などを参考に、上記の3つの観点から総合的に評価する。			1・2・3 学期の平均
到達目標に対する自己評価 (A・B・Cの3段階)						

音 楽 II

愛媛県立宇和高等学校

教 科	芸 術	単位数	2		対 象	普通科2年I型
使用教科書	MOUSA2	副教材等			履修	必履修・ <input type="checkbox"/> 選択
授業の概要		到達目標			履修の条件・進路	
音楽の諸活動を通して、音楽を愛好する心情と感性を高め、音楽文化についての理解を深め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばすことを目的とする。		<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を愛好する心情を持ち、自ら進んで様々な音楽文化について知ろうとするようになる。 ・自分で感受したものを、個性を生かしながら積極的に・主体的に表現することができるようになる。 			<ul style="list-style-type: none"> ・音楽Iを履修した者。 ・音楽系の進路を考えている人は履修することが望ましい。 	
学 習 の 年 間 計 画	月	単 元 名	学 習 内 容			自己評価
	1	器楽 (ドラム)	<ul style="list-style-type: none"> ・ドラムの基礎 ・4ビートから16ビート ・フィルイン ・テスト 			
	2	鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・オペラ「椿姫」 			
	3	楽典 創作 歌唱	<ul style="list-style-type: none"> ・ソルフェージュ ・テスト ・創作ミュージカル ・外国語の歌 ・Top of the world 他 			※学園祭で発表
3	楽典 器楽 (ギター)	<ul style="list-style-type: none"> ・和音の構成 ・コードの基本奏法 ・弾き歌い 				
学習方法	<p>【授業】 主体的・積極的に表現すること、鑑賞することを心がけましょう。</p> <p>【復習】 授業で習った曲は、日常生活でよく使われています。授業外でも音楽に耳を傾けましょう。</p> <p>【予習】 特にありません。</p>					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
	・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、創造的に表現しているか。		・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら解釈したり、価値を考えたりして理解を深め、表現できる。		・音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとしている。	
評価方法	※上記の3つの観点を基に、学期ごとに評価する。		1 学期	2 学期	3 学期	年度末
			(評価方法) などを参考に、上記の3つの観点から総合的に評価する。			1・2・3 学期の平均
到達目標に対する自己評価 (A・B・Cの3段階)						

美術Ⅱ

愛媛県立宇和高等学校

教科	芸術	単位数	2		対象	普通科2年I型	
使用教科書	高校美術2 (日本文教出版)		副教材等			履修	必修修・ <input checked="" type="checkbox"/> 選択
授業の概要		到達目標			履修の条件・進路		
美術の創造的な諸活動を通して、自然や自己、社会などを深く見つけ表現を追求する喜びを深く味わうとともに、感性を高め、主体的で個性豊かな美術の能力を高めることを目的とする。		<ul style="list-style-type: none"> ・美術を愛好する心情と感性を高める。 ・多様な表現形式や材料・技法を活用し、創造的で主体的な表現を追求する。 ・個々が持っている様々な表現力に気づき、生活の中に美術を取り入れようとする意識を持つ。 			<ul style="list-style-type: none"> ・美術I選択者に限る。 ・美術系の大学・短大・専門学校等に進学を希望する人は履修するのが望ましい。 		
学習の年間計画	月	単元名	学習内容				メモ
	1学期	質感を捉えて描く	<ul style="list-style-type: none"> ・油彩画の技法 ・青木敏郎に学ぶ ・思いを表現するということ ・素材と表現の可能性について ・鑑賞会 ・カンディンスキーに学ぶ 				※完成した作品は、校内展示します。
		イメージの世界	<ul style="list-style-type: none"> ・美術作品の観察・考察 				
	2学期	校内風景スケッチ 人物スケッチ	<ul style="list-style-type: none"> ・ポジとネガの視点 ・描くことと見ること 				※学園祭に美術選択生として作品を出品します。
線と明暗で表す 石が持つ素材の可能性		<ul style="list-style-type: none"> ・鉛筆デッサンの応用 ・描画素材としての針金 ・大理調石による表現 ・イメージの立体化 ・鑑賞会 					
3学期	紙の特性を生かして伝える	<ul style="list-style-type: none"> ・飛び出すカードのデザイン ・現代美術作家・作品について 					
学習方法	<p>【授業】 様々な素材や画材に触れることを楽しみ、アイデア豊かに制作していきましょう。</p> <p>【復習】 自分のイメージを追求できたか、制作の姿勢を省みましょう。</p> <p>【予習】 常にイメージを膨らませながら次時の作業内容を把握しておきましょう。</p>						
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
	<ul style="list-style-type: none"> ・造形的な特徴を基に、イメージや作風、様式などを捉えている。 ・表現方法を工夫し、主題を追求している。 		<ul style="list-style-type: none"> ・感じたこと、考えたこと、想像などから主題を生成している。 ・表現形式の特性を生かし、創造的な表現の構想を練っている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に絵画・彫刻の表現の創造活動に取り組もうとしている。 		
評価方法	※上記の3つの観点を基に、学期ごとに評価する。		1学期	2学期	3学期	年度末	
			(評価方法) などを参考に、上記の3つの観点から総合的に評価する。			1・2・3学期の平均	
到達目標に対する自己評価 (A・B・Cの3段階)							

音 楽 Ⅲ

愛媛県立宇和高等学校

教 科	芸 術	単位数	2		対 象	普通科3年1型	
使用教科書	音楽Ⅲ改訂版（教育出版）	副教材等				履修	必修修・ 選択
授業の概要		到達目標			履修の条件・進路		
音楽の諸活動を通して、音楽を愛好する心情と感性を高めるとともに、音楽文化についての理解を深め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばすことを目的とする。		<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を愛好する心情を持ち、自ら進んで様々な音楽文化について知ろうとするようになる。 ・自分で感受したものを、個性を生かしながら積極的・主体的に表現することができるようになる。 			<ul style="list-style-type: none"> ・音楽Ⅰを履修した者。 ・音楽系の進路を考えている人は履修することが望ましい。 		
学 習 の 年 間 計 画	月	単 元 名	学 習 内 容			自己評価	
	1 学 期	楽器・創作 (ドラム) 鑑賞 鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・ドラムの基本奏法 ・4ビートから16ビート ・様々なフィルイン ・フィルインを創作する ・テスト ・他国のポップス ・オペラ「トゥーランドット」 				
	2 学 期	課題研究 楽器 歌唱 鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート発表 ・楽器アンサンブル ・イタリア歌曲 ・「Nina」「Beautiful Dreamer」他 ・歌唱テスト ・世界の音楽めぐり 			※学園祭で発表	
	3 学 期	歌唱	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業写真 				
学習方法	【授業】自分の感性を生かした表現を積極的に行いましょう。 【復習】授業外でも音楽文化にかかわりましょう。 【予習】特にありません。						
評 価 の 観 点	関心・意欲・態度	芸術的な感受や表現の工夫	創造的な表現の技能		鑑賞の能力		
	・授業を通して音楽文化の素晴らしさを理解し、自分なりの表現や鑑賞をしようとしているか。 (約25%)	・楽曲にふさわしい表現を工夫したり、多様な音楽の面白さを受け入れたりすることができるか。 (約30%)	・自分の感性を生かした個性的な表現のために必要な演奏法を意欲的に習得しようとしているか。 (約30%)		・さまざまな音楽の様式や曲種それぞれの良さを受け入れ、聴きとることができるか。 (約15%)		
評 価 方 法	1 学期		2 学期	3 学期	年度末		
	※上記の4つの観点を基に、各学期ごとに評価する。		(評価方法) 実技試験、音楽ノートなどによる到達目標の達成度や授業態度などを参考に、上記の4つの観点から総合的に評価する。			1・2・3学期の平均	
到達目標に対する自己評価 (A・B・Cの3段階)							

美術Ⅲ

愛媛県立宇和高等学校

教科	芸術	単位数	2		対象	普通科3年I型	
使用教科書	高校美術3 (日本文教出版)		副教材等			履修	必修修・ <input checked="" type="checkbox"/> 選択
授業の概要		到達目標			履修の条件・進路		
美術の創造的な諸活動を通して、自然や自己、社会などを深く見詰め表現を追求する喜びを深く味わうとともに、感性を高め、主体的で個性豊かな美術の能力を高めることを目的とする。		<ul style="list-style-type: none"> ・美術を愛好する心情と感性を高める。 ・多様な表現形式や材料・技法を活用し、創造的で主体的な表現を追究する。 ・個々が持っている様々な表現力に気づき、生活の中に美術を取り入れようとする意識を持つ。 			<ul style="list-style-type: none"> ・美術I選択者に限る。 ・美術系の大学・短大・専門学校等に進学を希望する人は履修するのが望ましい。 		
学習 の 年 間 計 画	月	単 元 名	学 習 内 容				メ モ
	1 学 期	いつも隣にある美術 興味のあることを描く 画家が追い求めたもの	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統技術との融合 ・切りえの技法について ・ゼンダングルによる構成 ・自分の思いを伝える技法 ・鑑賞会 ・美術作品の観察・考察 				※完成した作品は、校内展示します。
	2 学 期	主張する美術 ものと場所による表現	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の中にある「なにか」 ・社会と人間と芸術 ・鑑賞会 ・須田悦弘の作品に学ぶ ・身近なモノを彫る ・鑑賞会 				※学園祭に美術選択生として作品を出品します。
	3 学 期	相互鑑賞・合評会 課題研究	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間のまとめ、講評 ・現代美術作家・作品について 				
学習方法	<p>【授業】 様々な表現形式や技法を習得・活用・展開し、個性豊かにじっくり制作していきましょう。</p> <p>【復習】 自分のイメージに向けて真摯に取り組めたか、毎時省みましよう。</p> <p>【予習】 より良い作品になるようにイメージを膨らませ、次時にやるべき作業を確認ましよう。</p>						
評価の観点	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	技能		鑑賞の能力		
	・積極的に制作に取り組み、自己追究、自己実現ができているかどうか。 (約25%)	・自然の偉大さや造形的な美しさ、自己の心や社会から受ける感情や美しさなどを基に、自らの表現の主題を生成できているかどうか。 (約30%)	・デッサン、色彩、構成、材料や用具の生かし方などの技能が身に付いているか。 ・材料や技法の効果的な選択・活用ができているかどうか。 (約30%)		・美術作品を幅広い観点から鑑賞し、美術文化を理解し、美意識を高めることができているかどうか。 (約15%)		
評価方法	※上記の4つの観点を基に、各学期ごとに評価する。		1学期	2学期	3学期	年度末	
			(評価方法) 作品、授業態度などを参考に、上記の4つの観点から総合的に評価する。			1・2・3学期の平均	
到達目標に対する自己評価 (A・B・Cの3段階)							